



台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう

平時に
確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、
自宅の災害リスクととるべき行動を
確認しましょう。

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？ **必ず取組みましょう**

ハザードマップ*で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地などにお住まいの方は、町からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として※、**立退き避難**（自宅の外に避難）が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、
①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
②浸水する深さよりも高いところにいる
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は**屋内安全確保**（自宅の上階などに留まり安全確保すること）も可能です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル3高齢者等避難が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう（日頃から相談しておきましょう）

いいえ

警戒レベル3高齢者等避難が出たら、町が指定している指定緊急避難場所に避難しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル4避難指示が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう（日頃から相談しておきましょう）

いいえ

警戒レベル4避難指示が出たら、町が指定している指定緊急避難場所に避難しましょう

「内閣府防災」のLINE公式アカウントでも、「避難行動判定フロー」を確認できます。

内閣府防災QRコード
LINE ID：@bosai



「マイ・タイムライン」をつくってみよう！

マイ・タイムラインとは、住民一人ひとりのタイムライン（防災行動計画）であり、いざというときにあわてることがないように、風水害からの避難に必要な知識を習得しながら、災害が起こる前に家族などで話し合って一人ひとりの適切な行動をあらかじめ決めておくものです。

知って備える（平常時）

自宅周辺の災害リスクを知る	・浸水深： m ・浸水継続時間： 時間 ・家屋倒壊等氾濫想定区域である： ☐ はい ☐ いいえ
避難場所・経路を調べる	・避難場所： ・移動時間： ・移動手段：
警報等の内容を調べてどんな行動をとるか知る	【記入例】避難開始のタイミング：高齢者等避難が発令されたとき
災害発生前後の情報収集方法を調べる	【記入例】情報収集先：テレビ・ラジオのニュース、久御山町HP・公式LINE等
避難スイッチ ※前もって避難するタイミングを決めておこう。	【記入例】警戒レベル3高齢者等避難で必ず避難、〇〇川の水位が〇mを超えたら避難する等

とるべき行動を考える

状況	警戒レベル	あなたの行動
気象状況 悪化のおそれ	レベル1 早期注意情報	【記入例】テレビやインターネットで天気予報をチェック、非常用持出品を確認
気象状況 悪化	レベル2 大雨・氾濫注意報	【記入例】避難場所や交通手段を再確認、携帯電話・スマートフォンの充電を確認
災害発生のおそれあり	レベル3 高齢者等避難	【記入例】離れている家族や知人に避難することを連絡、避難開始
災害発生のおそれ高い	レベル4 避難指示	【記入例】避難完了、テレビ・ラジオ、携帯電話・スマートフォン等で最新の状況を確認
災害発生または切迫	レベル5 緊急安全確保	【記入例】ただちに安全な場所〇〇に避難。ただし、避難が危険な場合は2階の部屋に移動